

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成23年度採択テーマ 中間評価結果

【河川管理のためのモニタリング手法の合理化・高度化技術】

テーマ名および概要		提案者名	中間評価コメント
テーマ	河川縦横断測量を高度化、効率化するための航空機レーザ計測適用に関する研究	(株)パスコ 坂下 裕明	水質等の日本の河川特性を整理して、グリーンレーザ導入のための条件を明確にするなど、今後の技術研究開発計画を再検討すること。
概要	従来の定期縦横断測量の代替として、航空機レーザ測深機(Airborne Laser Bathymetry)を用いた河川の水面下地形を連続的に取得する手法を研究するとともに、河床材料や植生等の判別可能性を検証し、河川地形のモニタリング手法の確立を目的とする。		
テーマ	堤防の3次元変状等をモバイルマッピングシステム、高精度高密度航空レーザ測量システムにより広域かつ高精度に把握する探査技術	京都大学 西山 哲	目標に向け順調に進捗している。日常点検、定期点検等、実際の河川管理との関係を明確にするなど実務で活用できるよう技術研究開発を進めること。
概要	車両搭載型レーザースキャナを活用した広域で面的かつ高精度の堤防変状モニタリング技術を完成させる。		
テーマ	光ファイバによる広域モニタリングシステムの開発と氾濫予測技術への活用	東京大学 村山 英晶	他の手法とのコスト比較を行うなど実現性・有用性についてよく検討すること。センサーの配置、数、精度等と氾濫シミュレーションとの関連など、実用化を念頭に技術研究開発を進めること。
概要	地表・地下で河川管理に関わる面的な情報を効率的にモニタリングし、リアルタイムの状況把握によって河川管理を高度化するため、光ファイバセンサネットワークを開発する。		

(五十音順、敬称略)